
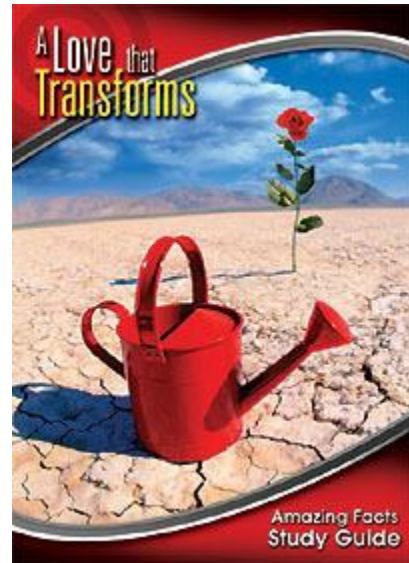


26. 人を変える愛

このページのプリント 

だれかに恋をしているとすべてが変わります。その一例ですが、若い女性が、大学の文学課程の課題のために分厚い本を読んでいた。彼女にとって、その本はまったく興味のない内容でした。読み始めてもすぐに気が散ってしまうのです。ところがそののち、大学のキャンパス内で、彼女は若い教授と劇的な出会いをし、お互いに心を奪われてしまいます。まもなく、彼女の愛する彼は、彼女が読むのに困難を覚えている本の著者であることがわかったのです。その夜、彼女は夜通しで夢中になって本を読み終え、声高に言いました。「これは今まで読んだ中で最高に素晴らしい本だわ！」何が彼女の考えを変えてしまったのでしょうか？愛でした。同様に、今日多くの人が聖書を退屈で、重苦しく、魅力を感じられない本だと思っています。けれども聖書の著者を心の底から愛するならばすべてが変わってしまうのです。それがどのようなものか、この聖書講座でご覧になってください。



1. 聖書の著者はだれですか？

「... 預言者たちも、たずね求め、かつ、つぶさに調べた。彼らは自分たちのうちにいますキリストの霊が、キリストの苦難とそれに続く栄光とを、あらかじめあかした時、それは、いつの時、どんな場合をさしたのかを、調べたのである。」ペテロの第一の手紙 1:10,11

答え： 聖書の神（旧約聖書の時代であっても）は、常にイエス・キリストであったと言っても過言ではありません。イエスは世界を創造し（ヨハネによる福音書 1:1-3,14; コロサイ人への手紙 1:13-17）、十戒を書かれ（ネヘミヤ書 9:6,13）、イスラエルの神であられ（コリント人への第一の手紙 10:1-4）、そして預言者たちが書き物をする際に導きを与えました（ペテロの第一の手紙 1:10,11）。このような理由で、イエス・キリストが聖書の著者であることができます。



イエスが聖書の著者である。

2. 地球の人々に対するイエスのお気持ちはどのようなものでしょうか？

「神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛してくださいました。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。」ヨハネによる福音書 3:16

答え： イエスは、私たちすべての者を、人知を超え、言葉では表現できない、尽きることのない愛をもって、愛してくださいました。



イエスは永遠に変わらぬ愛で、地球の人々を愛される。

3. 私たちは、なぜイエスを愛するべきなのでしょう？

「私たちは神を愛しています、なぜなら、神がまず、私たちを愛してくださったからです。」ヨハネの第一の手紙 4:19（欽定訳聖書）「しかし、また罪びとであった時、わたしたちのためにキリストが死んで下さった」ローマ人への手紙 5:8

答え： 私たちがイエスを愛すべきなのは、私たちがイエスの敵であったときでも、私たちのために命を捨てるほどに愛してくださったからです。



私たちのだれもがそれに値しないにもかかわらず、イエスは私たちすべての者のために死なれた。

4. 幸せな結婚とクリスチャン生活には類似点がありますが、それらから学ぶべきことがありますか？

「そして、願い求めるものは、なんでもいただけるのである。それは、わたしたちが神の戒めを守り、みこころにかなうことを、行っているからである。」ヨハネの第一の手紙 3:22

答え： 幸福な結婚生活には、欠かすことのできない大切なことがあります、たとえば伴侶に対して誠実であることなどです。それほど重要には思えないほかのことも、それらが伴侶を喜ばせることならば必要であるといえますし、不快にさせることであるのならやめるべきです。クリスチャン生活もそれと同様です。イエスのご命令は重要不可欠です。聖書の中にも、イエスがお喜びになる行いの原則が、私たちのために示されています。幸せな結婚と同じように、クリスチャンは、自分の愛するお方であるイエスがお喜びになることをすることが本当の幸せであることがわかります。また、イエスがお喜びにならないことをすることもありません。

5. イエスがお喜びになることをすると、人生に何をもらすとイエスは言っておられますか？



イエスを喜ばせる行いは、喜びと、豊かな人生をもたらす。

「もし、わたしのいましめを守るならば、あなたがたはわたしの愛のうちにおのである ... わたしがこれらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにも宿るため、また、あなたがたの喜びが満ちあふれるためである。」ヨハネによる福音書 15:10,11

答え： 悪魔は、クリスチャンの原則に従うことは、単調でつまらなく、自尊心が低下し、律法主義であると主張します。けれどもイエスは、従うことは喜びに満たされ（ヨハネによる福音書 15:10,11）、さらに豊かな生涯を送ることができる（ヨハネによる福音書 10:10）と言っています。悪魔の偽りを信じることは、心痛と悲嘆をもたらし、私たちが「真の人生」を生きることを奪われてしまいます。

6. クリスチャンとしての人生を歩む人たちのために、イエスが特定の原則を定められているのはなぜですか？



クリスチャンライフを送る人たちにイエスが与えてくださっている聖書の原則は、サタンの危険地帯に入ることから守られる。

答え：その理由は：

- A. 常に私たちの益のため（申命記 6:24）。良き親が正しい原則を子供たちに教えるように、イエスも神の子らに、正しい原則を教えられます。
- B. 罪に対する防備のため（詩篇 119:11）。イエスが定められている原則は、サタンの危険な領域に入ることと、罪を犯すことから守られます。
- C. イエスの模範に倣う方法が示されている（ペテロの第一の手紙 2:21）。
- D. 真の幸福をもたらす（ヨハネによる福音書 13:17）。
- E. イエスの愛を伝える機会を私たちにくださる（ヨハネによる福音書 15:10）。
- F. ほかに人たちの正しい模範となれるように助けてくださる（コリント人への第一の手紙 10:31-33；マタイによる福音書 5:16）。

7. クリスチャンはこの世の悪や、世俗的なものと、どのように関わるべきだとイエスは教えていますか？

答え：イエスのご命令や勧告は、明瞭かつ具体的です：

- A. 世と世にあるものごとを愛してはいけません、神に属していないこの世のものは：(1) 肉の欲、(2) 目の欲、(3) 人生のプライド（ヨハネの第一の手紙 2:16 - 欽定訳聖書）です。人が犯す罪は、上記の三つの中のいずれかの項目に当てはまります。サタンはこれらの三つの手段を用いて、私たちがこの世を愛するように誘惑します。世を愛することは、神の敵になってしまいます（ヨハネの第一の手紙 2:15, 16；ヤコブの手紙 4:4）。
- B. 「私たちは、世の汚れに染まらずに、自分自身を清く保つべきです。」（ヤコブの手紙 1:27）



世のもの愛すると神の敵になってしまう。

8. この世に関わることについての神の熱心な忠告は何ですか？

答え：「あなたがたは、この世に順応させられてはならない」ローマ人への手紙 12:2（欽定訳聖書）と、キリストはクリスチャンに忠告しておられます。フィリップス現代英語聖書では次のように訳されています：「あなたを取り囲むこの世によって、あなたをこの世の型にはめ込ませないようにしなさい」* 悪魔は、ほんやりと何もしていないということではなく、たえずすべてのクリスチャンを追い続けています。イエスの力によって、悪魔のほめかしに断固として抵抗するならば（ピリピ人への手紙 4:13）、悪魔は私たちから逃げ去ります（ヤコブの手紙 4:7）。私の行為に影響を及ぼす「この世にはめ込ませる」どのような要因でも許してしまうならば、その時点からいつの間にか誤った道に陥ってしまうのです。クリスチャンとしての行いは、感情や大方の人々の行動に倣うのではなく、聖書にあるイエスの言葉によって決められるべきです。

*Reprinted with the permission of Macmillan Publishing Company from *The New Testament in Modern English*, Revised Edition by J. B. Phillips, (C) 1958, 1959, 1960, 1972 by J. B. Phillips. *The New Testament in Modern English* by J. B. Phillips. Reprinted by permission of Harper-Collins Publishers Limited.



クリスチャンは、この世のものを断固として避けなければならない、そうでないとサタンに誤った方向へ導かれてしまう。

9. 私たちはなぜ自分の思想を守る必要があるのでしょうか？



私たちは注意深く思想を守らなければならない、なぜなら思想は行動に移されるからである。

「人がその心に思うことが、その人である。」箴言 23:7 (欽定訳聖書)

答え: 私たちは自分自身の思想を守らなければなりません、なぜなら思想が指令を出し、そして行動に移されるからです。神は、「すべての思いをとりこにしてキリストに服従」(コリント人への第二の手紙 10:15) することができるように助けてくださいます。けれども、サタンも私たちの思想に「この世」のものを持ち込もうと必死になっています。サタンがそれをするのが可能なのは、私たちの五感—特に視覚、聴覚を通してのみです。サタンは見せたいもの、そして聞かせたいものを私たちの前に無理やり持ってきますので、彼が提供してくるものを見聞きすることを絶えず拒むことをしないならば、サタンは私たちが滅びに至る広い道に連れて行ってしまいます。私たちは、くり返し見聞きするものように変えられていきます(コリント人への第二の手紙 3:18)。

10. クリスマン生活の原則にはどのようなものがあるのでしょうか？

「最後に、兄弟たちよ。すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて純真なこと、すべて愛すべきこと、すべてほまれあること、また徳といわれるもの、称賛に値するものがあれば、それらのものを心にとめなさい。」ピリピ人への手紙 4:8

答え: クリスマンは、これらの項目、「真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて純真なこと、すべて愛すべきこと、すべてほまれあること、また徳といわれるもの、称賛に値するもの」に当てはまらないすべてのものからきっぱりと離れなければなりません。私たちが避けるべきものは:

- A. 不誠実、不正直なすべてのこと；ごまかし、嘘、偽り、窃盗、不正、詐欺、中傷、裏切り行為など。
- B. すべての不純なこと。姦淫、不倫、近親相姦、同性愛、あらゆる性的逸脱行為、ポルノ、不敬、冒瀆、下品な会話や冗談、社交ダンス、墮落した歌や音楽、またテレビや映画館などで放映される多くのもの。
- C. 決してイエスと共に行くことができないような場所、ナイトクラブ、酒場、ギャンブルやカジノの場所、競馬場など。

ではここで少しの時間、一般に人気のある音楽、ダンス、テレビ、ビデオ、映画に焦点を当て、それらの危険性を詳しく調べていきましょう。

音楽と歌

多くの一般的な(世俗)な音楽(ラップ、カントリー、ポップ、ロック、ヘビーメタル、大人向けの近代音楽、ダンスミュージック)の大半は、サタンの支配下に置かれています。歌詞はしばしば悪徳を美化し、霊的なものを求める気持ちをまったくなくしてしまいます。音楽の影響に関して、研究者は興味深い発見をしています:

- (1) 音楽は感情を通して脳に入っていくので、理性を迂回します。
- (2) 音楽は身体機能すべてに影響を及ぼします。
- (3) 人が意識してなくても、音楽は、脈拍、呼吸数、反射作用を変化させます。
- (4) シンコペーション(通常のリズムの位置関係を移動させる手法)のリズムが入ったダンスは、その音楽を聞く人の気分を変え、催眠術を軽度で掛けられた状態になります。

歌詞がなくても、音楽自体が人の感情、欲求、思想を卑しいものにしてしまいます。世俗のロックミュージシャンたちは、これらの事実を公に認めています。ローリング・ストーンという名称のロックバンドのリーダー、ミック・ジャガーは、次のように言っています「アドレナリンが体の中を突き抜けていく感じで、それは性的興奮みたいなものだ。」¹ ジョン・オーツ(白人のソウルミュージック歌手)も、「ロックン・ロールは、99%が性的なことだ。」と言っています。² 果たしてこのような音楽はイエスを喜ばせることができるのでしょうか? 海外の異教からの改宗者は、現代の世の中のバンドミュージックは、彼らが魔術や悪魔礼拝に用いていたものと同じ種類のものだと言っているのです! 自分自身に問うてみてください:「もしイエスが私を訪ねてこられたら、一緒に聞いてうしろめたさのない安心して聞ける音楽はどのようなものだろうか?」どのような音楽であっても、それが良いか悪いかの確信が持てないものは棄て去るべきです。私たちが心の底からイエスを愛するときに、イエスは音楽の好みを変えてくださいます。「主は新しい歌をわたしの口に授け、われらの神にささげるさんびの歌をわたしの口に授けられた。多くの人はこれを見て恐れ、かつ主に信頼するであろう。」詩篇 40:3 神は、神の民のために、霊性を鼓舞し、生気を与え、高尚にし、クリスマン経験を強める多くの音楽を提供してくださっています。この神からの音楽の代わりにサタンの下劣な音楽を受け入れる人は、人生における最高の祝福、恵みを受け損ねていることになるのです。



神を敬う信心深い生活を望む心を損なってしまうような音楽は、避けなければならない。

ダンス、踊り

ダンスや踊りをするのは、イエスと霊的なことから必ずそれによっていってしまいます。イスラエルの人々が金の子牛の周りで踊ったときに、彼らは神を忘れてしまいました（出エジプト記 32:17-25）。悪しき女であったヘロデヤの娘が、ヘロデ王の面前で踊り、そのときにバプテスマのヨハネは斬首刑にされてしまいました（マタイによる福音書 14:2-12）。次の衝撃的な統計にご注目ください：ニューヨークのカトリックの司祭によると、彼に姦淫の罪を告白した四分の三の女性が、それらはダンスをしたせいであると認めています。ほかの司祭たちは、四分の三ではきわめて少ない、推定では十分の九くらいであろうと言っています。覚えていただきたいことは、その活動にキリストがあなたと一緒に参加することがおできになるのなら安全です。そうでないのであればそれらから離れましょう。



ダンスは、イエスと霊的なことから確実にそれによっていってしまいます。

テレビ、ビデオ、映画館

あなたがテレビやビデオ、または映画館で見るものは、あなたの下等な性質、それとも高等な性質に訴えかけるものですか？それらはあなたをますますイエスを愛するようにさせるのでしょうか？それとも世を愛するようにさせるのでしょうか？それらはイエスに栄光を帰すものですか？それともサタンの悪徳を称賛するのでしょうか？現在、世俗主義者たちや、クリスチャンでない人々でさえ、多くのテレビや映画業界に対して声高に反対しています。サタンは何億という人々の目や耳を虜にしていますが、その結果として世界は急速に不道徳、犯罪、恐怖と絶望状態の巣窟に変わりつつあります。ある研究では、テレビがなければ、「アメリカでは年間の殺人が 10,000 件減少し、強姦は 70,000 件減少、そして暴行は 700,000 件も少なくなる」と言っています。³ あなたを愛しておられるイエスは、サタンが考案した思想をコントロールしてしまうテレビ、ビデオ、映画から目を離して、イエスに目を向けるように願っておられます。イエスは言われます「わたしを仰ぎのぞめ、そうすれば救われる。」イザヤ 45:22

¹ Newsweek, "Mick Jagger and the Future of Rock", Jan. 4, 1971, p. 47.

² Circus magazine, Jan. 31, 1976, p. 39.

³ Newsweek, "Violence, Reel to Reel", Dec. 11, 1995, p. 47.

11. テレビ視聴をする際の指針として、どのような明確なリストをイエスはくださっていますか？

「肉の働きは明白である。すなわち、不品行（姦淫 - 欽定訳）、汚れ、好色、偶像礼拝、まじない、敵意、争い、ねねみ、怒り、党派心、分裂、分派、ねたみ、泥酔、宴楽、および、そのたぐいである。わたしは以前も言ったように、今も前もって言うておく。このようなことを行う者は、神の国をつくことはない。」ガラテヤ人への手紙 5:19-21

答え： 聖書は誤解の余地がないほど明確です。もし家族が、上記の聖句に挙げられている罪を容認し、放送しているようなテレビ番組をすべて禁じるならば、見ることのできる番組がほとんどなくなってしまいます。もしイエスがあなたの家庭においてになるならば、気兼ねなく、安心して一緒に見るようにお誘いできるのは、どのようなテレビ番組でしょうか？それができないすべての番組は、おそらく、クリスチャンが視聴するには適していないものです。



テレビ視聴に対する安全指針は、「この番組は、気兼ねなく安心してイエスと共に見ることができるだろうか？」と問うことである。

12. 自分で考えて判断する現代において、多くの人が、イエスを含め、だれからの助言がなくても、良いものと悪いものを見分ける霊的な識別力が自分にあると感じています。このような人々に対してイエスはどのように言われていますか？



テレビ番組の選択や、そのほか、私のなすことすべては、自分の感情ではなく、聖書の言葉を道しるべとしなければならない。

答え： イエスの率直な言明をお聞きください：「ここでは、われわれがきょうここでしているように、めいめいで正しいと思うようにふるまってはならない。」申命記 12:8 「人が見て自分で正しいとする道があり、その終りについては死にいたる道となるものがある。」箴言 16:25 「愚かな人の道は、自分の目に正しく見える、しかし知恵ある者は勧めをいれる。」箴言 12:15 「自分の心を頼む者は愚かである。」箴言 28:26

13. 私たちの生活上における模範と感化力に関して、イエスはどのような厳肅な警告をしておられますか？

「しかし、わたしを信じるこれらの小さい者のひとりをつまずかせる者は、大きなひきうすを首にかけられて海の深みに沈められる方が、その人の益になる。」マタイによる福音書 18:6 「あなたがたは、妨げとなる物や、つまずきとなる物を兄弟の前に置かないことに、決めるがよい。」ローマ人への手紙 14:13 「わたしたちのうち、だれひとり自分のために生きる者はな」い。ローマ人への手紙 14:7

答え：私たちはみな、指導者たちや影響力のある人々、有名なスポーツ選手、そのほかの著名人たちに対して良い手本を示し、彼らの影響力を賢明に活用し、社会に貢献するという恩返しをしてくれることを期待しています。けれども今日の世界では、著名な人々の不愉快で無責任な行為に、幻滅を感じる事がたびたびあります。ローマ人への手紙 1:14 では、イエスと彼の王国を代表するクリスチャンは、実際に、ほかの人々に果たすべき責任を負っているとイエスは述べておられます。クリスチャンとしての感化力や模範を示すことを軽く考え、それによって人々を迷わせ、正道から離れさせてしまうクリスチャンは、神の王国に入ることはないであろうとイエスは厳肅な警告をしておられます。

14. 衣服や装飾品に関して、イエスがお示しになる原則はどのようなものですか？

答え：

A. 控えめで、上品な服装をしましょう。 テモテへの第一の手紙 2:9 をお読みください。世の人々の肉の欲、目の欲、持ち物の誇り（人生のプライド - 欽定訳聖書）（ヨハネの第一の手紙 2:16）によって、世界がこのような状態になってしまったことを忘れてはなりません。慎みのない服装は、これら三つの欲をすべて含み、クリスチャンは装うべきではありません。

B. 装飾品、宝石、貴金属などの装身具を身につけるのはやめましょう。 「持ち物の誇り、虚栄（欽定訳）」は、とても大きな問題です。イエスに従う人々は、周りの人と異ならなければなりません。彼らの外観は、ほかの人々への証となり、光を掲げる者となるのです（マタイによる福音書 5:16）。装身具は、それを身につける人に注目を寄せ、自己称揚につながります。聖書においては、装身具は、墮落と背信の徴（しるし）です。ヤコブと家族が主に再献身したときに、身につけていた装身具を地に埋めました（創世記 35:1,2,4）。イスラエルの人々が約束の地に入る直前に、主は、装飾品を取り除くように人々に命じました（出エジプト記 33:5,6）。イザヤ書 3 章の中では、神の民が装身具（19-23 節でリストされている腕輪、指輪、耳輪など）を身につけることは、罪を犯すことであると神ははっきりと述べておられます（9 節）。ホセア書 2:13 では、イスラエルの人々が神を捨てたときに、装身具を身につけるようになってしまったと主は言われます。テモテへの第一の手紙 2:9 と、ペテロの第一の手紙 3:3 では、パウロとペテロの両方が、神の民は金や真珠、そして高価な着物で自分自身を飾らないようにと教えています。神の民が身につけるようにと神が望んでおられる飾りについて、ペテロとパウロが語っている言葉にご注目ください：「柔和で、しとやかな霊という朽ちることのない飾り」（ペテロの第一の手紙 3:4）、「良いわざ」（テモテへの第一の手紙 2:10）です。イエスは、ヨハネの黙示録 12:1 で、神の真の教会を太陽（イエスの輝きと義）を着た純潔な女、背教した教会を金と宝石と真珠で身を飾った淫婦（ヨハネの黙示録 17:3, 4）として象徴することでこれらを要約しておられます。神は御自分の民に、バビロンと、バビロンを象徴する自己に注目を引くような装身具を含めて、それらから離れ（ヨハネの黙示録 18:2-4）、イエスの義を着るように求めておられます。イエスを心から愛するならば、イエスのような生き方をすることは真の喜びとなるのです。



神は、装飾品、宝石、貴金属などの装身具は取り除くようにと神の民に命じられる。

15. 行いと服従は、救いにどのように関係するのでしょうか？



霊的なものを慕う気持ちが少なくなってしまうものは、どのようなものであっても偶像になってしまう。

答え：服従とクリスチャンとしての行いは、イエス・キリストによって救われたという証拠であり、証明になるのです（ヤコブの手紙 2:20-26）。実のところ、回心のちにその人の生活様式が変化していないのであれば、真の回心ではなかったという可能性が高いのです。回心した人は、すべてのことにおいてイエスの御心を見出し、イエスが導かれるところはどこであって喜んで従っていくことがこの上ない喜びとなるのです。

偶像崇拝を避ける

ヨハネの第一の手紙は、クリスチャンの行いについて書かれています。その手紙の終わりに（ヨハネの第一の手紙 5:21）、イエスは僕ヨハネを通して、偶像から離れるようにと私たちに警告をされています。主は偶像に関して、神に対する愛を妨げたり、減少してしまうもの、たとえば音楽、流行、所有物、装飾品、害悪のある娯楽などさまざまなものであることを述べておられます。真の回心において自然に結ぶ実、あるいは結果は、喜んでイエスに従い、イエスのように生きることを選ぶことです。

16. クリスチャンの生き方に賛意を表してもらうことを、すべての人に期待すべきでしょうか？

答え： イエスは、神に関してのことは、生まれながらの人には愚かなことである、それは彼らは御霊によって判断できないからであると言われました（コリント人への第一の手紙 2:14）。イエスが行いについて言及される場合、神の御霊によって導かれることを求める人々に対して原則を据えておられます。そして神の民は感謝と喜びをもって神の勧告に従います。ほかの人々は、それらを理解したり、賛意を表したりすることもないでしょう。



イエスに自らを完全に捧げていない人々は、クリスチャンの生き方を決して理解することはできない、また、私たちがそれを期待すべきではない。

17. クリスマンとして行うべきことを退けてしまう人は、天国をどのようにみなすでしょうか？

答え： そのような人は天国では惨め（みじめ）で不幸です。ナイトクラブや酒を飲むところはなく、ポルノはなく売春婦はいない、官能的音楽を聞けず、わいせつな本も見れない、下品で不敬な発言や行動はできず、ギャンブルも楽しめないと不平を言うことでしょう。イエスと真の愛で結ばれた関係を築いてこなかった人たちにとって、天国は「地獄」になってしまうことでしょう。このような理由で、クリスマン生活の標準は彼らにとって意味をなさないのである。



イエスのような生き方を拒む人は、天国では惨めで不幸である。

18. 偽善的、批判的、また律法主義的な状態に陥らずに、これらの聖書の指針を受け入れて従うにはどうすればよいでしょうか？

答え： 私たちが行うすべてのことに、いつもひとつの考えを持っていなければなりません、それはイエスに対する愛を表し、イエスを高く掲げるということです（ヨハネの第一の手紙 3:22）。イエスが掲げられ、人々に示されるならば（ヨハネによる福音書 12:32）、人々はイエスに引き寄せられるのです。私たちが常に自分自身に問うべきことは、「これをするのはイエスに栄誉を帰すであろうか？ 私が聞き、歌い、見、飲み、買い、読み、口から出る言葉や行い、出かける場所などさまざまなことは、もしここにイエスご自身が私と共にいられるならばどうするであろうか？」ということです。イエスは私やあなたと共にいられる（マタイによる福音書 28:20）、私たちがなすすべてのことをご存知でいらっしやいます。私は生活の場所に、また行うすべてのことにおいて、イエスの存在を意識していなければなりません。意識的にイエスとともに時間を過ごすならば、イエスに似た者となることのできるのです（コリント人への第二の手紙 3:18）。そして人々が私と一緒にいると、初期の弟子たちに対して周りの人たちが言ったように、「（弟子たちのことを）不思議に思った。そして彼らがイエスと共にいた者であることを認め」るのです。使徒行伝 4:13 そのように生きるクリスマンは、決して偽善的、批判的、また律法主義的になることはありません。旧約聖書の時代、神の民は、ほとんど常に背信に陥っていました。なぜならば、神が彼らに示された独自の生活様式の指針に従わず、近隣の異教徒のように生活することを選んだからです（申命記 31:16；士師記 2:17；歴代志上 5:25；エゼキエル書 23:30）。これは今日においても真実です。だれも二人の主人に兼ね仕えることはできません（マタイによる福音書 6:24）。この世とその生活様式にしがみついている人々は、徐々にサタンの思いと望みを抱くように形作られていきますので、サタンの計画通りに滅びてしまいます。クリスマンが行うべきことであるイエスの原則に従う人々は、神の御姿に変えられ、天国に行くための準備をさせていただきます。中間地点というものは存在しません。

19. 私はキリストを無上に愛したいです。そうすれば、クリスマン生活の原則に従うことが喜びと楽しみになるからです。

答え：

- はい
- いいえ

質問

1. 神が私に対して何を望まれているのか理解していますが、それをしようとする気持ちが起こりません。何か助言をいただけますか？

イザヤ書 8:20

すぐさまそれを始めましょう！決して感情に左右されてはいけません。神は聖書のみ言葉を通して導いてくださいます（イザヤ書 8:20）。感情は私たちが誤った方向へ導いてしまうことがたびたびあります。ユダヤの指導者たちは、イエスを十字架につけるべきだと感じましたが、それはまちがいであったのです。多くの人たちは、イエスの御再臨のときに救われると思っているかもしれませんが、そうではなく滅びてしまうのです（マタイによる福音書 7:21-23）。悪魔は人の感情を左右する影響力を持っています。もし、私が自分の感情に頼っているのであれば、悪魔は私を滅びに導いてしまうことでしょう。

2. 私は悩んでいることがあるのです。どうしてもしたいことがあるのですが、ある人には、私が悪事をしているように見えるかもしれません。どうしたらいいでしょうか？

テサロニケ人への第一の手紙 5:22

聖書には明確に次のように書かれています。「あらゆる種類の悪から遠ざかりなさい（悪に見えるものから遠ざかりなさい-欽定訳）。」テサロニケ人への第一の手紙 5:22 使徒パウロは、もし彼が肉を食べることでだれかをつまづかせてしまうのなら、今後一切、肉を食べることはしないと述べています（コリント人への第一の手紙 8:13）。パウロはまた、つまづいている人の気持ちを顧みずに肉を食べ続けるのであれば、彼は罪を犯すことになるとも言っています。

3. 教会には、すべきことと、してはならないことのリストがあまりにも多いような気がしてうんざりしてしまいます。本当に大切なのは、イエスに従うということではないでしょうか？

ヨハネの黙示録 22:14

そのとおりで、イエスに従うことは重要なことです。しかしながら、イエスに従うということがどのようなことを意味しているのかは、人それぞれまったく違った考えを持っているのです。イエスに従うということの意味を知るただ一つの安全な方法は、どのような疑問でも、それが良いことであっても、聖書の中でイエスがどのように言われているかを見つけることです。イエスのご命令に心から喜んで従う人々は、いつか近いうちに彼の王国に入ります（ヨハネの黙示録 22:14）。自分たちの規準に従い神の言葉を無にする人々は、道を踏み外し、イエスの王国にたどり着くことはないでしょう（マタイによる福音書 15:3-9）。

4. 神の要求されているいくつかのことが、私には不合理で必要がないように思えます。どうしてそれらが重要であるのかわかりません、これについて何か助言をいただけますか？

ヨハネの第一の手紙 5:4

子供たちは、両親が要求することの中に、（たとえば道路で遊んではいけないなど）不当な要求だと思ってしまうものがあります。けれどもあとになって、子供たちは、それらを親に感謝するようになるのです。私たちは、神との関係においては「子供」という立場です、なぜなら天が地よりも高いように、神の思いや、神のみ業は私たちのものよりも高いからです（イザヤ書 55:8,9）。私たちは、自分では理解できないように思える分野においては、愛なる優しい父を信頼して、もし神が「道路で遊ぶ」ことをやめるように命じられるのであれば、それに従うべきです。神は、どのような良いものも、私たちにくださることを決して拒まれることはありません（詩篇 84:11）。私たちが心からイエスを愛するならば、たとえ理由がわからないことでも、イエスをとにかく信頼することにして神の御心を行うのです。新生の経験をすることが秘訣です。私が本当に生まれ変わる経験をすれば、信仰を持って、すべてのことにおいて喜んでイエスに従い信頼するので、この世に勝つことは困難なことではなくなるのです（ヨハネの第一の手紙 5:4）。神が命じられていることの理由が明確ではないからと言って、神に従うことを拒むのであれば、救い主に対する信頼の欠如を表していることとなります。

5. イエスの愛の原則、律法や戒めから恩恵を受けることができるのでしょうか？

エレミヤ書 29:11

もちろんです！ イエスのすべての原則、規則、律法や戒めには、信じられないほどの大きな祝福があるのです。歴史上最最大級の宝くじが当たったとしても、神の従順な子供たちに与えられる神の豊かな祝福に比べると、それらはまったく取るに足らないものです。下記は、イエスの規則に従うことによって得られるいくつかの恩恵のほんの一部です：

1. イエスは個人的な友となる。
2. イエスはビジネスにおけるパートナーになる。
3. 罪の重荷からの解放。
4. 心の平安。
5. 恐れからの解放。
6. 言葉では言い表せない幸福感。
7. 長寿。
8. 天の住まいに対する確信。
9. より良い健康。
10. 失望がなくなる。

何という祝福でしょう！真のクリスチャンは、地上の最も裕福な人々とさえ決して買うことができない恩恵を、天の父からいただくのです。

6. 神の標準やライフスタイルについて、ほかの人々に訓戒を与える責任が私にあるのでしょうか？

コリント人への第二の手紙 13:5

私が守るべき第一の原則は、自分自身のライフスタイルを吟味することです。コリント人への第二の手紙 13:5 において聖書は、「自分を反省し、自分を吟味」しなさいと言っています。私たちのライフスタイルが本来あるべき状態であるのなら、私たちの模範が無言の証となり、だれにも訓戒を与える必要はなくなります。言うまでもありませんが、両親は子供たちに対しては、イエスにどのように従うのかを教える特別な義務があります。

7. 今日、クリスチャンにとっての最大の危険は何でしょうか？

マタイによる福音書 6:24

最も大きな危険は、二股の忠誠心です。多くのクリスチャンは二心で、イエスに対する愛、そして悪い習慣や快樂というこの世に対する愛の二つのものに愛情

を寄せています。あまりにも多くのクリスチャンが、できるだけこの世に近づいて世の慣習に従いながらも、依然としてクリスチャンであるとみなされることを願っているように見受けられます。それは不可能なことです。イエスは、「だれも、ふたりの主人に兼ね仕えることはできない。」ことをはっきり警告されています。マタイによる福音書 6:24

**8. けれどもこれらのクリスチャンとしての行いの規定に従うことは、律法主義ではないですか？
エペソ人への手紙 2:8**

救われたいがために行うということでないがぎり、律法主義とはいえません。救いは、イエスによる驚くべき無償の贈り物としてのみ来るのです。私たちの行いに救いはまったくありません。けれども、私が救われ、イエスを心から愛しているゆえにイエスが定められた行いの原則に従うことは、決して律法主義ではありません。

**9. 私たちの光を輝かせないとイエスが命じられたことは、クリスチャンとしての標準に関係がありますか？
マタイによる福音書 5:14**

もちろん関係しています！イエスは、本当のクリスチャンは光であるとおっしゃっています（マタイによる福音書 5:14）。イエスはまた「あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」とも言われました（マタイによる福音書 5:16）。光は耳で聞くものではなく見るものです。人々は、クリスチャンの光を、彼らの行い、服装、食事、会話、態度、同情心、純潔さ、親切心や正直さ（これらはイエスの標準）などによって輝いているのを見るのです。それによって人々はクリスチャンのライフスタイルについて問うてくることで、その結果としてキリストに導かれることが多いのです。

**10. クリスチャンの基準は文化的なもので、時代の推移とともに変わるものではないですか？
コリント人への第二の手紙 6:17**

慣習や風習は変わるかもしれませんが、聖書の基準は永遠に存続します。「われわれの神の言葉はとこしえに変わることはない。」イザヤ書 40:8 教会は世に従うのではなく、主導権を握らなくてはなりません。教会は、文化や、ヒューマニズム、時代の流行に形作られるようなことがあってはならないのです。私たちは教会を、間違いを犯す人間の標準に下げるのではなく、イエスの標準に至るように高めるべきです。もし教会の人々の生活や語り、外見も標準もこの世の人々と同じであるならば、だれが出て行って世の人々を助けることができるのでしょうか？イエスは神の民と教会に、「彼らの間から出て行き、彼らと分離せよ。そして、汚れたものに触れてはならない ... 触れなければ、わたしはあなたがたを受けいれよう。」とはっきりと呼びかけておられます。コリント人への第二の手紙 6:17 イエスの教会は、この世のものを模倣するのではなく、退けるべきです。「世」は、何億という人々を滅ぼしてしまいました。教会は、人々を滅ぼしてしまう世に決して加わるべきではありません。教会は確固たる態度を取り、慈悲深いながらもきっぱりとイエスの声に耳を傾け、イエスの標準にまで達するようにと呼びかけるべきです。そしてその声を聞く者たちがイエスを心から愛し、彼らの人生を支配されることを願うならば、救い主は、その人を変えるために必要な奇跡の業をなしてください、神の永遠の王国まで安全に行けるように付き添ってくださるのです。これ以外には天国に行く道はありません。

**11. すべてのダンス(踊り)が悪ではないですね、ダビデは主の前でダンスをしましませんでしたか？
サムエル記下 6:14**

確かに！ すべてのダンスが悪いとはいえません。ダビデは祝福と賛美の表現として、主の前で跳ねて踊りました（サムエル記下 6:14-16）。そしてまた、ダビデは一人でも踊っていました。ダビデの踊りは、足なえがキリストによって癒され、その喜びのために飛び上がった人の踊りと似ています（使徒行伝 3:8-10）。このような踊り、あるいは飛び跳ねることは、迫害されている人々にキリストが勧めておられることなのです（ルカ 6:22-23）。（不徳や家庭崩壊に至るような）異性同士のダンス、また汚れたダンス、裸ダンスなどの種類は聖書によって禁じられています。

**12. 互いに責め合い、裁きあう人々に対して聖書は何と言っていますか？
マタイによる福音書 7:1**

「人をさばくな。自分がさばかれたいためである。あなたがたがさばくそのさばきで、自分もさばかれ」る。マタイによる福音書 7:1,2 「だから、ああ、すべて人をさばく者よ。あなたには弁解の余地がない。あなたは、他人をさばくことによって、自分自身を罪に定めている。さばくあなたも、同じことを行っているからである。」ローマ人への手紙 2:1 これ以上明確な言葉があるでしょうか？ 自分以外のだれをも裁くことに対して弁解や弁明の余地はないということです（ヨハネによる福音書 5:22）。ほかの人に裁きを下すならば、裁き主としてのキリストの地位を奪い、反キリストの縮図になってしまいます（ヨハネの第一の手紙 2:18） -- 何と厳粛な思想でしょうか！

クイズ

1. 私たちが実行するためにイエスがお定めになった愛の原則は、イエスを心から愛するならば従うことが喜びとなります。(1)

- はい
 いいえ

2. 私はイエスによって救われ、イエスを愛しているゆえに、彼がお定めになった基準に従いますが、これは律法主義です。(1)

- はい
 いいえ

3. 聖書の本当の著者は、イエスです。(1)

- はい
 いいえ

4. 「世を愛してはならない」という意味は、私たちは次のものを愛すべきではないということです。(1)

- 私たちの国。
- 私たちの惑星世界。
- この世の罪深く、不道徳で不敬虔な生き方や事物。

5. なぜイエスは、私たちに特定の戒めや律法、そして規定を与えられるのですか?(5)

- 常に私たちの益のため。
- ほかの人々に、良い模範を示す方法を知ることができる。
- 私たちの自由を取り上げるため。
- キリストの模範に従うことができる。
- 罪を犯すことから守られる。
- 神の支配下に私たちを抑えつけるため。
- 私たちに本当の幸せをもたらすため。

6. クリスマンとしてふさわしい行いをするために考慮すべき二つの項目は(2)

- 聖書がどのように記しているかを学ぶ。
- 教会のメンバーがどうするかを観察する。
- コックリさんに聞いてみる。
- 自分の感情のままにふるまう。
- イエスならどうなさるのか、自分自身に問うてみる。

7. サタンは、私たちの五感(視、聴、触、味、嗅覚)を通してのみ侵入することができます。(1)

- はい
- いいえ

8. クリスマンとしてなすべきことに関して、イエスが具体的に勧告と指針を与えてくださっているものは下記のリストのうちのどれですか?(5)

- どのような服装をするか。
- 健康的な生活。
- 身につける装飾品。
- オリンピック スキー。
- 飲食。
- 飛行機の操縦。
- 家の購入。
- ほかの人々へ示す模範や及ぼす感化。

9. (良い) 行いや服従は、どのように救いに関係しますか?(1)

- 私たちは行いと服従によって救われる。
- 救われた人は、行いや服従をしなくても天国に行く準備ができています。
- 行いと服従は、人が回心し、生まれ変わったという証拠である。

10. イエスが放棄するように求めておられるもの—たとえば身につける装飾品、ロックミュージック、悪いテレビ番組など—を放棄することを拒むのであれば、神はそれらを偶像とみなされます。(1)

- はい
- いいえ

11. クリスマン生活は、幸せな結婚生活に似ており、私たちが愛する者を喜ばせようとするときに成功をもたらします。(1)

- はい
- いいえ

12. サタンが、人々に罪を犯すように誘う三つの経路は、下記のリストのどれですか?(3)

- 聖書を人々から隠す。

- 持ち物の欲、虚栄。
- 空にメッセージを書くことによって。
- 肉の欲。
- 目の欲。

13. 思考は行動になるので、私たちの思考を守ることはきわめて重要です。(1)

- はい
- いいえ

14. 忠実にイエスに従うときに与えてくださると約束された恩恵のいくつかが下記に記されています、それらは(7)

- 預言の仕方を知ることができる。
- 長生きすることができる。
- 信じたいほどの幸せを楽しむことができる。
- より健康にめぐまれる。
- 髪の毛が白髪に変わらない。
- 百万長者になれる。
- 天国の家郷が約束されている。
- 恐怖から解放される。
- キリストを個人的な友とすることができる。
- 心の平安に憩うことができる。

15. 私のすることによって、クリスチャンの兄弟の感情をそこねてしまったらどうするべきですか？(1)

- すべての人を喜ばせることはできないのであるから無視する。
- 一対一で対決する。
- その兄弟を除名するように試みる。
- それをすべての教会員に伝えどちらの側につくのか決めてもらう。
- ほかの人が不愉快になることはやめる。

16. 聖書の勧告に耳を傾けるより、自らの意志を通すことを決意している人のことを、イエスは何と呼ばれていますか？(1)

- 独自の考えを持つ人。
- 賢い人。
- 愚かな人。

17. イエスが定められたクリスチャン生活のための基準を拒む人は(1)

- その人が天国に行けば、すぐに霊的なことを好むようになる。
- 聖なる都に行ってから数日経てば、その人はかたくな心を悔い改める。
- そのような人は天国では不幸で惨めである。

著作権；2006年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。
個人使用に限ってのみ複写可。 by www.bibleuniversity.com Bible School website.